

熊本地震 学校日記 vol.5 4/27(水)学校開放 初日

天気予報通り、朝から雨。8:10 スクールバスが到着しました。まずは、福永先生監督の下図書室へ。職員室では8:25職員朝会で最終確認。8:30頃には、正門に第一陣の子どもたちの姿が見えます。職員は一斉に配置につきました。8:55には登校完了。

図書室前から、教室までがそれはまた大変でした。混雑しないように、図書室前にはブルーシートを敷きました。(ブルーシートまでは土足OK) 荷物・傘・靴を持って自分の靴箱に行き上靴に履き替える。その際、外靴と傘は自分の教室まで持っていく。でも結構たくさんの子が靴箱に靴を入れちゃうんですね。多分習慣です。各教室前には靴置き場、傘立てが準備してあります。



そしてやっと教室へ。教室では、まず久しぶりに会った子ども同士が笑顔で会話。ハイタッチをする姿も…子どもたちも先生たちもとてもうれしそうです。いろいろ心配しましたが、開放日を設定して本当に良かったと思いました。(登校できなかった人もご心配なく。授業日ではありませんし、みんなそれぞれの事情があるわけですから)



各教室では、お絵かき、塗り絵、ぶんぶんごま、トランプ、カルタ、オセロに将棋、読書、先生が用意したプリントで勉強している子もちょっとだけ…クラスによっては、フルーツバスケットやドラえもんバスケット、伝言ゲーム、ジェスチャーゲーム、ストレッチ、新聞紙に何人乗れるかゲーム等々、どの教室も子どもたちの笑顔と歓声であふれていました。



10:30頃から1～3年生は帰りの荷物を持って、地区ごとに廊下に並びます。10:40教頭先生の放送開始「○丁目は図書室前に集まって下さい」(混雑するので、時間をずらして集合をかけます。)学童保育の子どもたちは、エントランスホールで待機、スクールバスの子どもたちは、図書室で待機。図書室前に集まったら登校班ごとに並び今日来ている全員がそろったら、ブルーシートで外靴に履き替えてさようなら。最初の地区が学校を出たのが、11:00少し前でした。

初日は、靴箱にあった上靴を取り、外靴と傘は教室に…という複雑な動きだったので、混乱しましたし、時間差での下校も、学童保育のお迎えのこと等もあり、なかなか慣れずに大変でした。しかし、2日目からは、ずいぶんスムーズな動きになりました。ちなみに、前日までの家庭訪問で聞いたときの登校予定は68%でしたが、4/27(水)は74%、4/28(木)は70%、5/2(月)は66%、5/6(金)は66%の登校でした。

EARTHの方のお話で一番心に残ったのは、子どもたちの心のケアについてでした。例えば、子どもたちは「地震ごっこ」なる遊びを始めたりするけれど、これは自然なことでは「やめなさい」と言うてはいけないということ。このような遊びをして、心のバランスをとっているということ。元気だからといって安心してはいけないということ。それは表面上のことだけかもしれないし、今だけのことかもしれない…先生たちの役割は、イエローゾーンにいる子どもをグリーンゾーンに引き上げること、レッドゾーンの子を見極めて、専門家につなぐこと、それは学校の先生にしかできないことだと言われました。



学校に来ることが心のケアになる。リズムを取り戻したり、友達の顔を見たり、友達と話をしたりすることが大切だということでした。

まだ新学期が始まったばかり、クラス替えがあったばかり、担任が変わったばかり…の大変な時期ですが、子どもたちの心のケアに努めたいと思います。



美咲野小だより

5月

NO.6

H28. 5. 11

大津町立美咲野小学校
文責：草場ルミ子

校長室の窓から

赴任してすぐから思っていたことがあります。美咲野小の子どもたち、あいさつをなかなか返してくれないなあということ。十人くらいの子どもたち「おはよう」と大きな声で言っても素知らぬ顔で通り過ぎます。何でかなあという考え、「自分に言われていない」と思っているんだと気付きました。この学校開放日はチャンスだと思い、図書室横の出入り口付近で一人一人の顔をのぞき込み、目を含ませて「おはよう」や「さようなら」を言い続けました。すると、ほとんどの子があいさつを返してくれました。通り過ぎようとする子には、手を振ったり返してくるまで「おはよう」と言い続けたりしました。中には、立ち止まってあいさつしたり、帽子をとってあいさつしたりする子もいます。中には、立ち止まってあいさつしたり、帽子をとってあいさつしたりする子もいます。中には、立ち止まってあいさつしたり、帽子をとってあいさつしたりする子もいます。中には、立ち止まってあいさつしたり、帽子をとってあいさつしたりする子もいます。

第5条

肥後っ子の
あすを支える
がまん力

～熊本県家庭教育十ヵ条より～